

平成27年5月15日

各位

会社名 イーレックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 博
(コード番号: 9517 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役管理部長 花島 克彦
(TEL. 03-3243-1118)

中期経営計画「Challenge 500」に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、中期経営計画について、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

2014年12月に東証マザーズ上場を果たし、さらなる成長を図るために2016年3月期から2018年3月期を「第2の創業期」と位置づけ、2016年4月に電力全面自由化が予定されている低圧・家庭市場に参入し、数年後には売上高500億円を目指します。

その第1ステップとして「Challenge 500」(2016年3月期～2018年3月期)を策定し、小売販売体制の確立および供給体制の拡充を図ります。

「Challenge 500」 ～売上高 500 億円に向けて～

(億円)

「Challenge 500」	2016年3月期(第18期)		2017年3月期(第19期)		2018年3月期(第20期)	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	240	100.0%	320	100.0%	460	100.0%
営業利益	15	6.3%	20	6.3%	35	7.6%
当期純利益	9	3.8%	10	3.1%	25	5.4%

1. 基本コンセプト:「Challenge」

2016年4月に予定されている電力全面自由化に向けて、激しい競争が予想されるが、あらゆる困難な状況にChallengeする。

2. 基本方針

2018年3月期までの3年間は、電力全面自由化に伴う低圧・家庭市場への参入にし、数年後には、売上高500億円、当期純利益40億円に飛躍するための準備期間とする。

3. 基本戦略

(1) 最重要戦略事業としての小売販売体制の確立

- ①2016年4月に解放される6.9兆円市場である低圧・家庭用市場に参入し、高収益体制を維持する。
- ②低圧・家庭用市場に参入に際しても最大限に代理店制度を活用する。
- ③自由競争下で先行、成功している米国企業と連携の強化を目指す。
- ④自由化販売分野の拡大への対応と合わせ、十分な調査・検討を踏まえ、販売エリアを拡大する。

(2) 供給体制の拡充と重点的燃料戦略

- ①自社電源として、我国最大のバイオマス発電規模を確保する。
- ②バイオマス燃料については、供給の安定性確保、さらに低廉な競争力のある燃料価格の追及を行う。
- ③活性化が進むと予想される取引所とのトレーディングノウハウについても、先行している米国の企業との連携を深めることにより、調達機能の強化を図る。

4. 経営目標

- (1) 収益目標・・・売上高500億円
- (2) 財務目標・・・ROE（自己資本利益率）20.0%
- (3) 配当目標・・・配当性向20.0%

5. 拡大・成長への体制整備

(1) 人材確保

電力全面自由化に伴う市場拡大に対応すべく、エンジニアを含め、即戦力の人材を中心に採用を強化する。

(2) 組織変更

電力全面自由化に対応し、拡大する事業規模に即した組織体制を整備する。

(3) 高効率な情報システム導入

低圧・家庭市場参入に向けた課金システム、電力監視システム等への投資を加速し、拡大する市場に対応する。

(4) 資金調達の確保

業務提携のために資本政策を有効に活用するとともに、間接金融の効率的な運用を行う。

(5) 大型投資へのリスク対応

低圧・家庭市場参入に向けたプロジェクト、新規発電所建設等の大型投資に備え、リスク管理体制を強化する。

(6) ガバナンス体制の充実

拡大する事業に対応できる組織体制を整備するとともに管理部門の強化を図り、内部統制システムを充実させるとともに、コンプライアンス体制を充実する。

以上